

カリフォルニア州オークランドのCCRC視察

2017年7月26日に、カリフォルニア州在住のミシガンネット理事のルース・キャンベル氏のご紹介で、サンフランシスコで開催されたIAGG（第21回世界老年学会）会期中にCCRC視察ツアーを行いました。

CCRC(Continuing Care Retirement Community)は、活動的で元気な高齢期から介護が必要なときまで、継続的で包括的ケアを提供するコミュニティです。今回視察したのは、サンフランシスコ市近郊にある非営利・無宗派組織の「ヒューマングッド」が所有管理する「ピードモントガーデン」で、インデペンデントリビング（自立型住居）から、アシステッドリビング（介護付き住居）、専門看護施設、メモリーサポート（記憶支援施設）と、4種類の施設で構成されています。このCCRCは、映画館、本屋、スーパーマーケット、カフェ、レストラン、ギャラリー、郵便局、公共図書館等、潇洒な店が建ち並び、活気あふれた街の中にありました。

ツアーは、サンフランシスコのダウンタウンから専用バスでピードモントガーデンに到着後、お茶とお菓子、そして入所者の方々の歌と演奏の歓迎からはじまりました。



その後、小グループにわかれてスタッフの方々より4部門が散らばる広い施設を案内をしていただきました。写真は、明るいパティオとメモリーユニットの写真です。



施設見学後、さらに7グループに分かれて、各グループ2名ずつ利用者の方々の部屋を訪問させていただき、お話を伺いました。利用者の平均年齢が88才というこのCCRCで、90才を超えて元気に人生を楽しむ方々も多く、Successful Agingを体現する方ばかりでした。このCCRCは交通の便も良く、街の中で家族や友人や近隣者との交流や、仕事やボランティアなどのソーシャルライフを楽しむことができます。そして、ケアが必要な時は、ニーズに合わせた継続的ケアに移行します。このような高齢期のライフスタイルと、継続的なケアコミュニティのシステムに、多くの示唆をいただきました。
(文責：神山裕美)